

理事長 殿

2022年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	電子情報工学コース	職	准教授	氏名	梶沢栄基
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) リーディングスキルテストを活用したキャリア支援					
	(英文) Career support using the RST					
研究種目	教育課題研究					
研究実績の概要						
<p>学生は、グローバル化・AI技術の進歩により文章（例えば契約書や仕様書）を読み・書き・理解し・自ら考えて行動する能力が問われる時代を生きることになる。一つ例を挙げると、誰が読んで一つの意味しか伝わらない日本語で書かれた指示書の作成能力である。しかし、特に若い世代でSNSは中心的なコミュニケーションツールとなり長文読解・作成ができない者が増えている。本校学生も例外では無く、「読む」能力が低下している可能性があり、それに伴い「理論的思考能力も低下しているのではないかと、多くの教員が感じている。</p> <p>そこで学生の「読む」能力を「見える化」するために、実績のあるリーディングスキルテスト（RST）を2020年度から1年生を対象に実施している。この課題は、学生自らが自身の日本語力に気づくことと、さらに教員・保護者でデータを共有することにより技術者として必要な「読み・理解する能力の向上」を目的とした。</p> <p>1年生は7月に試験を実施し、担任には受け持っているクラスの個別データとデータの読み方を説明し学生指導に活用してもらった。</p> <p>中学校在籍時にコロナウィルスの影響を受けなかった2020年度入学の学生に比べ、コロナウィルスの影響を受けた2021年度、2022年度入学の学生の中央値はほぼ全ての項目で下回り、分布も2020年度に比べ2021年度2022年度入学の学生では能力が低い方に偏る傾向が見られた。今後も継続して測定することが望ましいと考える。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
<p>・梶沢栄基：「リーディングスキルテストスコア及び授業評価間の相関」，都立産技高専研究紀要第17号，pp.150-157，2023/3.</p>						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						